

JAグループ神奈川

<http://www.jakanagawa.gr.jp/>

バックナンバーはこちらから

じゃ  
いいJAん!

# がながわ明日すリート 24

馬術競技



当間桃子さん  
\*  
藤沢市在住

県内の馬術競技界において、今春に湘南学園高を卒業する当間桃子選手は期待のホープだ。藤沢乗馬クラブに所属し小学校入学当初から乗馬を始めたが、競技歴は高校1年の春からと浅い。それでも2018年の全日本ジュニア障害馬術大会で9位に入るなど、実力とさらなる可能性を併せ持った楽しみみな逸材だ。

「馬術を始めたその年に、いきなり上位に進めた。競技の魅力をあらためて知って、やめられなくなりました」。手綱と脚、体重の移動などにより馬への繊細な指示を出す選手の技術に加え、それに応える馬の能力が問われる競技。選手と馬の信頼関係による連携、生み出す飛越や演技、迫力と華麗さなどが評価されるのも特徴だ。

当間選手は「馬には人を癒やす力があり、勇気づけてくれる存在」と強調する。競技中もどこかで心が通じたと感じる瞬間があり、競技を離れば愛嬌あいきょういっぱいのお馬には、好きな映画の主人公とピンクのバラから、ルーシー・エルミタージュと自ら名付けた。

人間でいうと36歳のルーシーは「おてんばなお姉さん」ともに研さんを積みながら、体の幹の強さや歩数を見る目を養い、さらなる信頼関係の構築を目指す。JAグループ神奈川からダイコンやキャベツなど野菜盛り合わせが贈られると「ニンジンの一本はお裾分けしてあげようかな」と、相棒を思い、表情を崩した。

コロナ禍で大会の開催は危ぶまれるが、今秋の全日本障害馬術大会などを視野に入れ、その結果を追求していく。「人々が自由に動けない中でも練習ができるのは幸せなこと。親や先生に何が恩返しになるか分からないけれど、せめて成績を出して恩返ししたい」と心に期している。



\*今号は、電話によるインタビューで記事をまとめました。

JAグループ神奈川は、  
神奈川のアスリートを応援しています。